

# 令和 4 年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校 全日制課程

教科・科目 講座名	家庭・家庭基礎	単位数	2 単位	必修
対象学年・組	2年1組～5組			
担当教員	渡邊 茉那、松井 洋子			
教科書等	新家庭基礎(教育図書)、生活学Navi(実教出版)			

学習の目標	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、環境への配慮をしながら生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
-------	---

学期	単元(学習内容)	時間	学習上の留意点
1学期	① I－第5章 衣生活	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と密接な関係である衣服を科学的な視点で改めて捉え、衣服への理解を深める。</li> <li>・高齢者の生活と福祉について理解させ、男女が相互に協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について認識できるようにする。</li> <li>・人の一生を客観的にとらえ、自身のライフプランやキャリアプランを考えさせる。</li> </ul>
	② I－第3章 高齢期		
	③ I－第1章 青年期と家族		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
2学期	① II－第2章 保育	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の一生を生涯発達の視点でとらえ家族や家庭生活のあり方、子どもを生き育てることの意義を考えさせ、子どもの健全な発達のために親・家族・社会の果たす役割が重要であることを認識できるようにする。</li> <li>・家族の食生活・住生活に必要な基礎的な知識と技術を習得させ、家族の生活を健康で安全かつ快適に営むことができるようにする。</li> </ul>
	② II－第4章 食生活		
	③ II－第6章 住生活		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
3学期	① II－第7章 消費生活・環境	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の消費生活と情報社会との関連を知り、生活情報の取捨選択し、判断するための知識が身につけられるようにする。</li> <li>・自分の消費行動と環境とのかわりを意欲的に考え、多面的な角度で見つめ、考え行動することができるようにする。</li> </ul>
	② II－第8章 生活設計		
	③		
	④		
	⑤		

評価の観点・方法	定期考査における学習の到達度・理解度に加え、作品で習得する技能、実習や各課題への取り組みに対する態度・意欲などを総合して評価する。
----------	---